第66回 日本社会医学会総会

The 66th Annual Meeting of Japanese Society for Social medicine

アクセスマップ

当事者から学ぶ社会医学

－語り学び合い、子ども若者たちとともに未来を変える－

2025年 9月 6日（土）～ 7日（日）キャンパスプラザ京都（京都駅から徒歩5分）

大会長　武内 一（佛教大学 社会福祉学部 教授）

メイン企画（市民公開講座）　9月6日（土）13:30～16:30
参加無料　手話通訳・要約筆記あり

優生保護法下での不妊手術に対する社会医学会の責任ある立場を考える
「私たち社会医学会が何故この問題に向き合えなかったのか」を問う

優生保護法問題に対するきこえない者の思いと全日本ろうあ連盟の取り組み
石野富志三郎（全日本ろうあ連盟参与）
優生保護法と医師の責任、法律家の責任、教師の責任
藤原精吾（旧優生保護法事件原告弁護団）
学会として歴史を振り返る　高鳥毛敏雄（日本社会医学会 理事長）
産婦人科医の現場と旧優生保護法 ～何が起きて何が終わっていないか
舩山由有子（坂総合病院 産婦人科）

日本社会医学会総会，
評議員会，懇親会も開催

参加費：
学会員　4000円（事前）
5000円（当日）
大学院生 2000円

一般演題：
ポスター発表

シンポジウム１

子ども・若者の健康と商業活動の関係 －複雑で見えにくい今日的課題 Commercial Determinant of Health－
医薬品・嗜好品・超加工食品・ゲームに関連する企業や医療関係者の責任と社会的支援の必要性

ミルクはなぜ売れる？ －母乳代用品の販売戦略と子どもの権利　名西恵子（東京大学 国際交流室）
死にたいと生きたくないはどう違うのか ～「OD倶楽部」に集うOD当事者達の声から
倉田めば（大阪DARC）
子どもの孤独とゲーム嗜癖 －大人と社会の責任－　吉川徹（愛知県西三河福祉相談センター）

シンポジウム２

居場所のない子どもたち

深夜の街から見えるもの　田中勤（南生協病院 産婦人科）
触法少年の社会医学的背景　一杉正仁（滋賀医科大学 法医学）
アウトリーチは関係づくり　徳丸ゆき子（認定NPO CPAO）
現場の声：家庭に居場所のない幼児

大会長講演：　**子どもと共に行う研究**
―国際社会と日本―
武内一

子どもたちの声：　**子どもの権利条約の学びを**
政策要求へ
たかつかさ児童館高校生

シンポジウム３＆次世代企画 コラボレーション

気候変動に取り組む

2050年の健康 ～未来からの手紙　佐々木隆史（こうせい駅前診療所、みどりのドクターズ）
学生の災害時支援活動、災害への備えに繋がる活動　後藤至功（佛教大学 専門職キャリアサポートセンター）
未来を守る訴え：気候変動と向き合う若者の訴訟から考える
堀之内来夏（立命館大学 国際関係学部・若者気候訴訟原告団）
ラウンドテーブル・ディスカッション：
未来の地球のために私たちは何ができるか　～京都発！若い世代からの発信

主催：現地準備委員会（責任者：佛教大学社会福祉学部　武内一、事務局長：佛教大学保健医療技術学部　白星伸一）
https://www.shiga-med.ac.jp/~socmed66/　E-mail; socmed66@belle.shiga-med.ac.jp